

## 帯広市男女共同参画推進員 が出前講座を行いました！

帯広市男女共同参画推進員は市民協働のパートナーとして、市の男女共同参画推進に協力し、情報誌の企画・編集やセミナーの企画・運営、出前講座で朗読劇などを行っています。

2014年2月15日に、ソロプチミスト3クラブ合同セミナーで出前講座の新日本昔話「桃子」を行いました。

これは、「もし桃太郎が女の子だったら」というお話で、日々の生活の中で、男女の役割分担を取り上げたもので、「きづき」を目的としたものです。他にもいろいろな朗読劇を用意しております。団体やサークルなどにお伺いしますので、ぜひ声をおかけください。



小さな草の根的な活動かもしれませんが、男女の意識向上のために活動しており、推進員も募集しておりますので、詳しくは男女共同参画推進課までお問い合わせください。

## 第12回 「女と男の一行詩」

「女と男の一行詩」に多数のご応募をいただきありがとうございました。十勝管内在住・在勤・在学の方を対象に募集したところ1,044作品のご応募をいただき、一般投票と選考委員による審査の結果6作品が入賞しました。

入賞  
作品発表!!

一行詩とは、形式のない川柳のようなものです。女性と男性それぞれが、個性や能力を発揮していける男女共同参画社会の実現のために、日常の身近なところから「男女平等」「男女の扱い・役割の違い」などについて感じる想いを自由に表現した作品を平成14年から募集しています。

【最優秀賞】

「生徒会長女子なんだ！」

驚かれて 驚いた

村松 亜美さん(高校生)

私は両親に、「人としてどうあるべきか」と注意されてきたので、社会で「女の子なのに」「女のくせに」といふ言われ方をすることに驚き、それを表しました。

【優秀賞】

出産は フランクじゃない 自慢のキャリア

東海林 公美さん(一般)

男女の差 いたわりあって 埋める溝

平泉 尚登さん(一般)

【入選】

男女なんて関係ない あなたの心と、あなたらしさ。

木村 保菜美さん(中学生)

歳老いて やつとなれたよ 世帯主

船水 初子さん(一般)

気が付けば いつものキッチン かげこつ

長岡 円さん(高校生)

### 講評

「女と男の一行詩」は、今年度も大変優れた作品の応募が多数ありました。最優秀賞に選ばれた作品は、高校生ならではの感性と経験から生まれた作品で、「一行詩」としての完成度も秀逸したものでした。優秀賞に選ばれた2作品は、女性が社会で活躍していくうえで、依然多くの課題が残されていることを痛感させるものでした。



入賞作品には、家庭や家族をテーマにしたものもありました。特に注目されたのは中学生の入選作品です。この作品は本市の男女共同参画の議論が次世代においてさらに深まることを十分に予感させてくれました。

「一行詩」を通して男女共同参画を身近に考えることができるよう、これからも様々な世代からたくさんのお応募があることを心から期待しています。

選考委員長 岡庭 義行

(帯広市男女共同参画推進市民会議会長)

皆様のご意見、ご感想をお待ちしています。

帯広市役所 男女共同参画推進課  
〒080-8670 帯広市西5条南7丁目1番地  
電話：0155-65-4134 FAX：0155-23-0171  
電子メール danjyo@city.obihiro.hokkaido.jp

平成26年3月発行

●発行 行：帯広市 男女共同参画推進課  
●企画・編集：帯広市男女共同参画推進員  
小林 孝子・清水 マチ子  
小野寺和子・池田 淳一